

障がい福祉サービス事業所のオンライン化をサポートする

Special Learning

導入についてのご提案

Presented by 株式会社Lean on Me



Agenda

今回のご提案

1. なぜLean on Meと行うのか
2. 研修の概要
3. 私たちにしかできないこと



なぜリーンオンミーと行うのか

社会に問い、社会に応え、知的障害者の福祉を、生活を、そしてその人生を支える。
皆様方の力を得て、チテキショウガイシャという言葉などのない社会を創造する。
山口県内に所在する知的障害児者の施設（事業所を含む。）の充実向上及び知的障害児者の福祉増進を図る。

—山口県知的障害者福祉協会

新たな福祉と社会に開かれた組織。



一般
財団法人

Yamaguchi Association on Intellectual Disability

山口県知的障害者福祉協会



Lean on Me

障がい者にやさしい街づくり

それは、

理念の共有ができる、数少ないパートナー

であるから。

知的障がいの子どもを産んだお母さんが、

「リーンオンミーという会社があったからこの子を育てようと思った。」
と言ってもらえる社会を本気でつくっていきたいと思っています。

ビジョン

「障がい者にやさしい街づくり」

障がいのある方とその家族が、将来のライフプランについて希望を持ち、見通しを立てることができる社会を構築します。

ノーマライゼーション

虐待ゼロは当然として、障がいのある方が社会に融和して暮らせる、真のノーマライゼーションの実現。



Lean on Me

経済的な自立

障がいのある方が社会保障がなくても生活できるよう、それぞれの方に適した職場環境を実現。

人生の選択肢

障がいのある方もスポーツ・買い物・食事・結婚・娯楽などに取り組み、人生を豊かにできる環境を構築。



リーンオンミーが 『大切にしていること』

- ① 「知的障がい者の家族」の不安払拭
- ② 「現場の支援者」への支援
- ③ 諸外国の先進知見



2. 研修の概要



アタマでわかるココロがひらく

障がい者支援者向けオンライン研修サービス

Special Learning

こんなお悩みのある事業所の課題を解決します。



研修に参加してもらいたいけどシフトの穴埋めが大変で参加できない



非常勤職員に対する研修がほとんどできていない



研修のテーマがマンネリ化し、知りたい内容をすぐに学べない

Special Learningの活用方法



「誰が」「いつ」「何を学習した」「どんな気づきがあったか」など研修記録をデータベースで管理できる

- ・オンラインで学習できる
- ・スマホやパソコンなど様々なデバイスで学習可能
- ・好きな時間・場所で学習できる
- ・独自動画UPなどサーバー利用

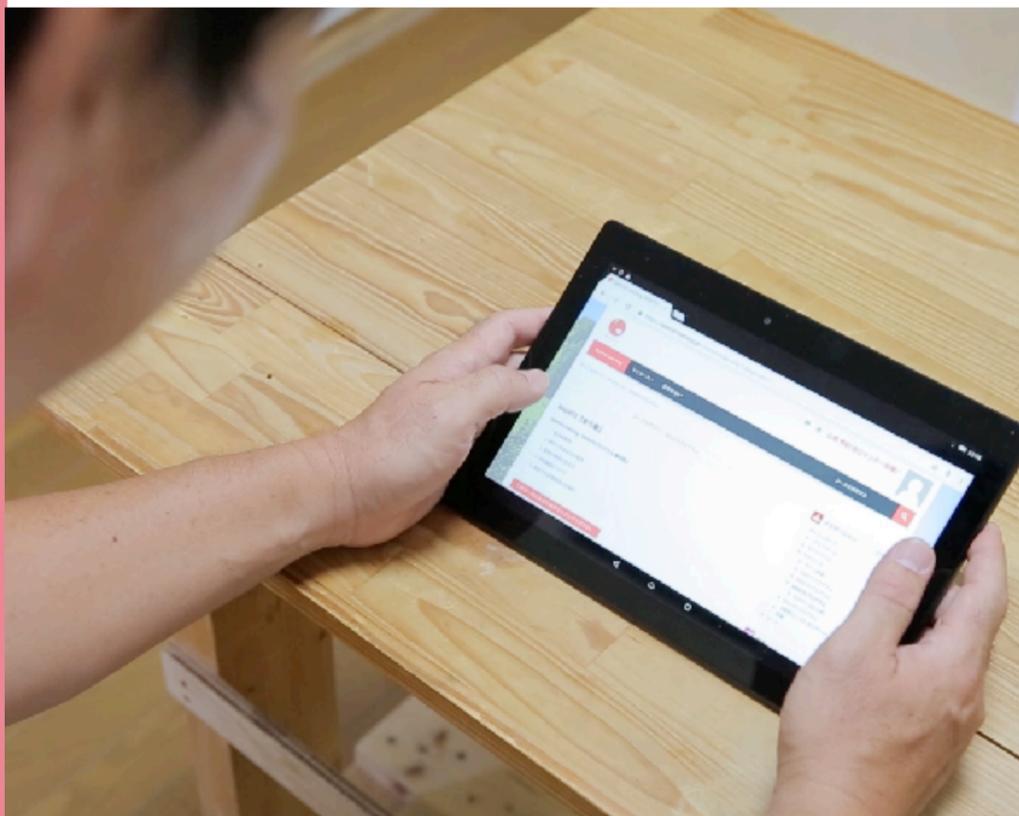




アフターコロナの当たり前

新型コロナウイルスが収束した後の新常識

- ①事前にeラーニングで基礎学習
- ②集合学習して議論やワーク
- ③eラーニングで振り返り



基礎知識は効率的に学び

実践スキルは深くじっくり学ぶ

しかし、障がい福祉業界において
受講環境を整えただけでは、
理解浸透・定着はしません。

サービスマップ

支援力が上がる

オンライン研修での共通認識を浸透させる仕組みづくりを形成します

伝える

リーオンミーから加盟事業所へ

運用方法の考案

活用方法のレクチャー



学ぶ

研修の定着

ブラッシュアップ

受講方法の最適化

フィードバックの設計

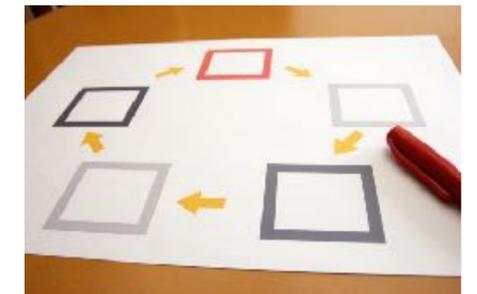


実践する

支援者全体の知識UP。これからの福祉へ

実践現場での評価設定

eラーニングで得た知識を、現場での実践に活かし支援力を高める



※写真はイメージです

加盟施設へのオンライン研修の最適化



Service

【コンサルティング】

専任の顧客サクセス担当による、**オンライン研修**でありながら、**属人的**なフォローアップ。

(参考例)

- ・ 事業所に沿った具体的な活用事例の提案
- ・ オンラインレクチャー
- ・ 職員会議にてSpecial Learningを元にしたファシリテーションオンラインサービス
- ・ LINEを用いた、ご質問に関する負担軽減 ...etc

